

# 令和5年度府中市立府中第三中学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

## 1 現状及び課題等

### (1) 学習改善の視点（生徒の学び方）

- ①「全国学力・学習状況調査」において、「勉強が好き」「授業の内容はよく分かる」ということへの肯定的評価は、他の質問項目と比べると低い。
- ②「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」において、難しい問題にあきらめずに取り組んだり、学習方法を工夫したりすることへの肯定的評価の割合は、都平均を下回っている。
- ③校内での授業アンケートにおいて、家庭学習に毎日取り組んでいる生徒は約半数に留まっている。

### (2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ①「全国学力・学習状況調査」の結果を踏まえ、教員の、授業研究に関する教科部会及び校内研修を充実させる。
- ②「東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果を踏まえ、各教科において、補足的な学習サポートに関する取組を充実させる。
- ③校内での学校評価アンケートの結果を踏まえ、授業において、生徒が自分の言葉で考えをまとめること時間を確保し、指導を充実させる。

## 2 学校全体で目指す授業像

### (1) 目指す生徒の学びの姿

- ①課題への取り組み方を理解し、見通しをもちながら学習に取り組み、「できた」「分かった」という達成感を味わうことができる。
- ②難しい問題に直面した際に、クラスメイトや先生に質問したり、自分なりに試行錯誤を重ねたりして、解決しようとするすることができる。
- ③自分の得意・不得意を自分なりに把握し、課題意識をもちながら家庭で学習する時間を設け、苦手分野の復習に取り組むことができる。

### (2) 目指す授業像

- ①ICTの活用も含め、授業実践に関する先行研究に関する情報を集めながら教材研究を行い、その成果と課題を検証する。
- ②生徒が困っている状況を個々に的確に把握し、個に応じて助言したり、学習課題を提示したりして、基礎学力を定着させる。
- ③自分の考えをもち、他者と交流する中でその考えを深め合う時間を、意図的・計画的に授業の中に位置付ける。

## 3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

### (1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	思考のプロセスを可視化するワークシートなどを作成し、学んだことが適切に再現できているか確認する課題・テストなどを実施する。	美術	主題に基づいた表現を、参考作品や他生徒など複数の作品から示すことで、技法や理論の定着を図るとともに、その活用ができるようにする。
社会	ICTを効果的に活用し、生徒の社会的事象への関心を高める。また、自分の考えをまとめたり、表現したりする活動を通して思考・判断・表現の力を高められるように、グループ活動を効果的に実施したり、学習課題の工夫に力を入れたりしていく。	保健体育	普段の生活がより充実したものになるよう体力の向上を図るとともに、仲間同士の教えあいの場を増やすことで、人間関係を向上させ、技能の定着に磨きがかかるようにする。
数学	日常性のある教材を使用して、協働的・探究的な授業を実施する。また、数学の学習内容を、生活の中のものに関連付けて考える力を付ける。	技術	最初から手順や特徴などを教えるのではなく、自分で考えたり、調べたりする場面を多く設定し、自ら課題を解決する能力を育てる。
理科	生徒が主体的に科学的な課題を見付け、解決しようとする態度を身に付けられるよう、日常生活や他教科との関連や、既習事項を意識した授業展開を図る。	家庭	毎時間の目的とねらいを明確にし、グループ学習と個人学習の双方から学習内容への理解を深めさせ、各生徒に、課題を解決する力を身に付けさせる。
音楽	人前で自信をもって音楽表現できるように、基本的な演奏技術（呼吸法、発声法）を身に付けさせるとともに、生徒が互いに意見を出し合い、パート練習を進める力を育てる。	外国語	自分の考えや気持ちを伝える活動を通して、英語で表現する力を育てる。

### (2) 生徒用タブレット端末の活用【市共通】

生徒が思考するための情報を収集したり、お互いに考えたことを交流したりする場面で、板書やワークシートとタブレット学習とを適切に組み合わせながら、主体的・対話的で深い学びのある授業の充実を図る。